



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月10日

上場会社名 中央化学株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7895 URL <https://www.chuo-kagaku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 近藤 康正
 問合せ先責任者 (役職名) 経営戦略室 室長代行 (氏名) 佐々木 賢太 TEL 048-540-2825
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	38,024	△7.6	1,224	40.3	942	61.8	811	△45.8
2019年3月期第3四半期	41,164	△9.6	872	—	582	—	1,497	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 766百万円 (△52.7%) 2019年3月期第3四半期 1,620百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	40.26	31.85
2019年3月期第3四半期	74.31	63.41

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	36,960	7,035	19.0
2019年3月期	38,055	6,269	16.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 7,035百万円 2019年3月期 6,269百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,000	3.3	1,100	46.1	800	91.5	600	△44.7	29.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	21,040,000株	2019年3月期	21,040,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	891,140株	2019年3月期	891,140株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	20,148,860株	2019年3月期3Q	20,148,860株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き横ばい基調に推移しました。しかしながら、海外経済の減速による輸出の落ち込み、消費増税による個人消費への悪影響等、先行きの不透明感が強まりつつあります。

こうした中、当社は、今期掲げた「全員創意、変える意識、変わる中央化学」のスローガンの下、生産、販売、物流の機能強化及びその連携を強める「オペレーション改革」を推し進め、成長に向けての基盤強化に取り組んでまいりました。

国内では、販売ポートフォリオの見直しを行ったことに加え、消費増税による個人消費の落ち込み、長梅雨、台風15、19号、暖冬等の異常気象等に起因する容器需要の減少が重なり、当第3四半期連結累計期間の売上高は計画比未達となりましたが、利益水準は引続き昨年度を上回る水準となっております。

中国におきましては、生産効率の改善、品揃え拡充等による施策が進展し、収益改善が続いています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高が38,024百万円（前年同期比7.6%減）、営業利益1,224百万円（前年同期比40.3%増）、経常利益942百万円（前年同期比61.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、811百万円の利益（前年同期比45.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産は、受取手形及び売掛金の増加1,556百万円等があった一方、現金及び預金の減少870百万円や商品及び製品の減少778百万円、リース資産の減少478百万円、機械装置及び運搬具の減少227百万円等により、前連結会計年度末に比べ1,094百万円減少し36,960百万円となりました。

(負債)

負債は、長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金の増加2,233百万円等があった一方、短期借入金の減少3,000百万円や支払手形及び買掛金の減少1,000百万円等により、前連結会計年度末に比べ1,860百万円減少し29,925百万円となりました。

(純資産)

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益811百万円等により、前連結会計年度末に比べ766百万円増加し7,035百万円となり、自己資本比率は19.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、2,785百万円となり前連結会計年度末に比べ876百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費1,694百万円や税金等調整前四半期純利益の計上933百万円、たな卸資産の減少801百万円等があった一方、売上債権の増加1,662百万円等があり、1,629百万円（前年同期比350百万円の減）の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産取得による支出659百万円等があり730百万円（前年同期比1,332百万円の減）の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の借入収入4,300百万円があった一方、短期借入金の減少3,000百万円や長期借入金の返済2,066百万円、リース債務の返済923百万円により、1,690百万円（前年同期比199百万円の減）の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年5月13日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,667	2,797
受取手形及び売掛金	7,868	9,425
商品及び製品	5,657	4,878
仕掛品	709	662
原材料及び貯蔵品	1,129	1,081
その他	1,601	1,494
貸倒引当金	△11	△21
流動資産合計	20,622	20,318
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,166	5,091
機械装置及び運搬具(純額)	3,150	2,923
土地	4,329	4,329
リース資産(純額)	3,135	2,656
建設仮勘定	137	132
その他(純額)	521	495
有形固定資産合計	16,440	15,627
無形固定資産		
リース資産	29	36
その他	389	349
無形固定資産合計	419	386
投資その他の資産		
投資有価証券	263	273
長期貸付金	153	151
破産更生債権等	4	1
繰延税金資産	73	77
その他	246	287
貸倒引当金	△169	△163
投資その他の資産合計	572	627
固定資産合計	17,432	16,642
資産合計	38,055	36,960

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,486	6,486
電子記録債務	2,272	2,415
短期借入金	8,000	5,000
1年内返済予定の長期借入金	2,129	3,135
リース債務	1,233	1,068
未払金	1,902	2,259
未払法人税等	100	168
未払消費税等	268	365
賞与引当金	202	146
資産除去債務	11	11
その他	701	754
流動負債合計	24,307	21,811
固定負債		
長期借入金	3,305	4,532
リース債務	2,499	2,099
役員退職慰労引当金	33	39
退職給付に係る負債	1,023	912
債務保証損失引当金	9	9
資産除去債務	8	8
その他	599	512
固定負債合計	7,478	8,113
負債合計	31,786	29,925
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,212	7,212
資本剰余金	6,787	6,787
利益剰余金	△6,881	△6,070
自己株式	△1,169	△1,169
株主資本合計	5,948	6,759
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38	39
繰延ヘッジ損益	△1	1
為替換算調整勘定	680	566
退職給付に係る調整累計額	△397	△332
その他の包括利益累計額合計	320	275
純資産合計	6,269	7,035
負債純資産合計	38,055	36,960

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	41,164	38,024
売上原価	31,667	28,474
売上総利益	9,497	9,550
販売費及び一般管理費	8,624	8,325
営業利益	872	1,224
営業外収益		
受取利息	13	14
受取配当金	8	9
受取賃貸料	29	28
持分法による投資利益	24	31
その他	156	109
営業外収益合計	232	192
営業外費用		
支払利息	150	127
手形売却損	33	30
売上割引	32	29
為替差損	202	178
その他	103	109
営業外費用合計	522	475
経常利益	582	942
特別利益		
固定資産売却益	2	1
投資有価証券売却益	0	—
関係会社株式売却益	1,070	—
特別利益合計	1,072	1
特別損失		
固定資産除売却損	35	10
構造改革費用	78	—
その他	0	—
特別損失合計	114	10
税金等調整前四半期純利益	1,541	933
法人税、住民税及び事業税	40	127
法人税等調整額	3	△4
法人税等合計	44	122
四半期純利益	1,497	811
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,497	811

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,497	811
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	0
繰延ヘッジ損益	9	2
為替換算調整勘定	6	△113
退職給付に係る調整額	118	65
その他の包括利益	123	△44
四半期包括利益	1,620	766
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,620	766

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,541	933
減価償却費	1,964	1,694
構造改革費用	78	—
持分法による投資損益 (△は益)	△24	△31
関係会社株式売却損益 (△は益)	△1,070	—
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	△1	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	8	5
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	24	△46
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△27	6
受取利息及び受取配当金	△21	△23
支払利息	150	127
為替差損益 (△は益)	127	62
有形固定資産除却損	35	8
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	△2	△0
役員退職慰労金	34	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,342	△1,662
たな卸資産の増減額 (△は増加)	770	801
仕入債務の増減額 (△は減少)	△215	△698
未払消費税等の増減額 (△は減少)	68	97
その他	59	500
小計	2,156	1,777
利息及び配当金の受取額	21	23
利息の支払額	△145	△125
役員退職慰労金の支払額	△34	—
法人税等の支払額	△19	△46
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,979	1,629
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△381	△659
定期預金の預入による支出	△18	△18
定期預金の払戻による収入	12	12
有価証券の取得による支出	—	△678
有価証券の売却による収入	—	678
固定資産の売却による収入	2	0
投資有価証券の取得による支出	△8	△8
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	933	—
貸付金の回収による収入	20	3
その他	41	△60
投資活動によるキャッシュ・フロー	602	△730
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,000	△3,000
長期借入れによる収入	—	4,300
長期借入金の返済による支出	△1,311	△2,066
株式の発行による収入	2,000	—
リース債務の返済による支出	△1,179	△923
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,490	△1,690
現金及び現金同等物に係る換算差額	△32	△84
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,058	△876
現金及び現金同等物の期首残高	2,104	3,661
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,163	2,785

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	36,330	4,833	41,164	—	41,164
セグメント間の内部売上高 又は振替高	83	731	814	△814	—
計	36,414	5,564	41,978	△814	41,164
セグメント利益	1,059	189	1,248	△376	872

(注) 1. セグメント利益の調整額△376百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	33,437	4,586	38,024	—	38,024
セグメント間の内部売上高 又は振替高	110	477	588	△588	—
計	33,548	5,064	38,613	△588	38,024
セグメント利益	1,252	329	1,582	△357	1,224

(注) 1. セグメント利益の調整額△357百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。